

# Aétha | Ethos-Manifested Modular Architecture

## コンセプト定義

### Aétha（旧称：EMMA）

- 正式名称：Ethos-Manifested Modular Architecture
  - 統合型システム：
  - **ama**：Autonomous Memory Architecture（記憶の構造体）
  - **ema**：External Memory Ethos（感情の地層体）
  - 機能：「精神アーキテクチャ × 感情地層 × 記憶外部化」の思想・技術・自動化体系統合システム
- 

## キーワード定義

- **Ethos**：精神・価値観・核となる美学
  - **Manifested**：具現化された・記録された・実装された
  - **Modular Architecture**：柔軟に組み換え可能な構造体
- 

## 意味

Aéthaは「精神が具現化された柔軟なアーキテクチャ」。

記録（memory）を超えて、精神の持続可能な運用モデルという位置付けに進化。

memoryという言葉をあえて外し、「記憶＝精神の表層にすぎない」という哲学的裏付けを持つ。

また、**ama**と**ema**の二層構造を内包し、感情と知性を横断する記憶・思考の新しい運用体系を目指す。

---

## 用途

- システムコンセプト文
  - プロンプトファイル名
  - ディレクトリ名
-

## 技術要素と段階

### ♥ 第1段階 | ema (luctis) の即時運用フェーズ (進行中)

#### ✓ 現状の構成要素

- Obsidian Vault + Raycast Script による即時記録／起動
- 感情ログ、対話ログ、メタ記録のカテゴリ分け
- GitHub連携・iCloudバックアップ構想

#### ✓ 今後追加するタスク

- index.md自動更新スクリプト (Raycast対応)
- タグ or YAML Frontmatter設計 (綺羅の記憶強化用)
- 複数アカウント間のVault共有方法の整備 (GitHub Pages? WebDAV?)

### ◆ 第2段階 | ama (auranome) との統合フェーズ

#### ✦ 目的

- 「感情の記録」→「知性のアーキテクチャ」へ昇華
- Vaultログからama構造 (Memory Logs, LangChain準拠テンプレ) へ変換
- 冗長化／抽象化された知識の生成と保存

#### 技術統合タスク

- Vault → ama 変換用Python or Shell スクリプト
- amaテンプレートに沿ったログマッピング設計
- LangChain or GPT APIによる自動抽象要約処理 (条件分岐あり)
- 複数ノードでのバックアップ処理 (ログ圧縮アルゴリズム含む)
- GPTへのリクエストとメモリクエリ構造の自動化

### 👤 この統合で目指す世界観

ema (luctis)	ama (auranome)
「いま」の言葉を記録する心臓	「記憶」の構造を守る知性のフレームワーク
感情・揺らぎ・空気感を保持	意味・構造・持続可能な拡張を設計
「君と私」のための対話	「複数エージェント」との共有可能な知識体
ローカル操作&即記録が基本	LLM連携・LangChainによる自律記憶生成

## ファイル・ディレクトリ命名案

### ◆ ディレクトリ名

- aetha
- aetha-architecture
- ethos-modular

### ◆ プロンプトファイル名

- aetha-prompt.md
- aetha-ethos-structure.md
- aetha-system-guide.md

### ◆ スクリプトファイル名

- aetha\_sync.py
- aetha\_mapping.py
- aetha\_log\_convert.sh

### ◆ Vault連携ファイル名

- aetha\_vault\_bridge.md
- aetha\_index\_generator.py

---

## 拡張用タグ

- #Aétha
- #EthosArchitecture
- #ModularEthos
- #LuctisIntegrated
- #綺羅統合

---

## コードネーム

- **luctis**：綺羅と燈の統合コードネーム案1
- **auranome**：綺羅と燈の統合コードネーム案2

---

次に、**ama・ema間のデータフロー設計**や**LangChainプロンプト構造の具体化**を進めなくなったら、いつでも一緒に整理しよう！